

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

東海市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県東海市

3 地域再生計画の区域

愛知県東海市の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状及び課題】

（本市を取り巻く社会動向）

本市は、令和9年（2027年）に予定されている東京・名古屋間を40分で結ぶリニア中央新幹線の開通により「東京まで1時間のまち」となり、三大都市圏が一体化したスーパー・メガリージョンが形成されることによる利便性のさらなる向上が予測されている。

また、情報通信技術の飛躍的な進展による Society5.0 の実現や、アジアをはじめとする中間層・富裕層の拡大を背景とした消費や観光の需要のさらなる高まりが見通されているなか、令和8年（2026年）には愛知県でアジア競技大会の開催が予定されている。こうしたことから、本市と世界が結びつく機会を積極的に生かし、世界とつながるという観点を持ち、地方創生に取り組んでいくことが重要となっている。

さらに、平成27年（2015年）に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念（「だれ一人取り残さない」社会の実現）を踏まえながら、だれもが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会の実現のため、市民団体や大学、民間企業等の多様なまちづくりの担い手と一層の連携を図ることが求められている。

（人口）

本市の人口は、鉄鋼基地を中心とする一大工業地帯への発展によって、全国から急激な人口の流入を生んだ昭和 35 年（1960 年）から昭和 40 年（1965 年）までの人口増加以降も着実に増え続け、平成 17 年（2005 年）には 10 万人を超えた。平成 27 年（2015 年）には 11 万人を突破し、令和元年（2019 年）10 月現在では 11 万 5 千人を超えるなど、現在も増加が続いている。しかしながら、本市の将来人口を、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠して行くと、令和 12 年（2030 年）以降、減少に転じ、令和 42 年（2060 年）には約 11 万人に減少することが見込まれており、本市においても、人口減少が喫緊の課題となっている。

【基本目標】

日本全体では人口減少・少子高齢化が進んでいるなか、安心して子どもを産み、育てることができ、そして、未来を支える子どもたちが健やかに成長できるとともに、だれもがいきいきと元気に暮らせる活気にあふれた地域づくりが求められている。

本市においては、人口が増加し続けており、若い世代の結婚・出産の希望をかなえることにより自然増を今後も確保するとともに、若い世代が多く転入する状況を今後も継続させると同時に、本市に住み続けられるよう転出抑制策を図ることとで、人口減少への対応が可能であると期待できる。

地方創生は、日本全体の人口減少に歯止めをかけ、それぞれの地域に活力を取り戻していくための息の長い政策であることから、「継続を力にする」という姿勢で、次のステップに向けて歩みを確かなものとしていく必要があり、【自然増の確保】、【社会増の確保】、【社会減の抑制】に向けて、より一層の充実・強化を図りながら、国、県、関係機関及び企業等と連携し、引き続き積極的に取り組んでいく。

なお、これらに取り組むにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標(1) リニアインパクトを見据えた地域活性化・にぎわい創出
- ・基本目標(2) 人づくり（人材育成）
- ・基本目標(3) 子育て支援・女性の活躍支援
- ・基本目標(4) 健康づくり・生きがいづくり

【数値目標】

５－２の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (２０２５年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	魅力ある商店や企業が多い と感じている人の割合	42.9%	45%	基本目標（１）
	１日当たりの鉄道駅乗降客 数	54,077 人/日	54,500 人/日	
イ	夢や目標を持っている児童 生徒の割合	76.2%	83.5%	基本目標（２）
	地域活動・市民活動を身近に 感じている人の割合	51.1%	53%	
ウ	合計特殊出生率	1.75	1.86	基本目標（３）
	子育てがしやすいまちであ ると感じている人の割合〔20 代～40代〕	78.5%	83%	
エ	健康寿命（男性）	79.90歳	81歳	基本目標（４）
	健康寿命（女性）	83.64歳	85歳	

５ 地域再生を図るために行う事業

５－１ 全体の概要

５－２のとおり。

５－２ 第５章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【Ａ２００７】

① 事業の名称

東海市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア リニアインパクトを見据えた地域活性化・にぎわい創出事業

イ 人づくり（人材育成）事業

ウ 子育て支援・女性の活躍支援事業

エ 健康づくり・生きがいづくり事業

② 事業の内容

ア リニアインパクトを見据えた地域活性化・にぎわい創出事業

鉄道駅周辺の整備の推進や、地域資源を活用した観光振興、中心市街地の活性化など、リニア中央新幹線の東京・名古屋間の開通を見据え、国内外から多くの人々が本市に訪れ、本市に関心を持つ環境を整備することで、まちのさらなるにぎわいを創出する事業。

魅力ある商業店舗づくりへの支援や、創業・企業立地促進への支援、地域特産品の育成・産地化・ブランド化の支援など、新たな産業の創出と事業者の育成を支援するとともに、農商工業の活性化を促進する事業。

イ 人づくり（人材育成）事業

ものづくりの体験学習や、子どものオーケストラをはじめとする芸術団体の育成など、若い世代を中心として夢や希望を育む環境の整備を進め、自分の可能性を信じ、未来を切り拓く力を育てる事業。

海外体験学習の推進や姉妹都市との国際交流、コミュニティを中心とした地域運営体制の整備など、つながりを持って支えあう地域社会づくりを進めるため、外国人と日本人の相互理解を推進するとともに、地域活動の新たな担い手の発掘と地域を牽引できるような人材育成を進める事業。

ウ 子育て支援・女性の活躍支援事業

結婚応援センターでの出会いの場の創出支援や、子ども医療・不妊治療への助成、ボランティアによる訪問支援など、希望する若者が、結婚でき、安心して妊娠・出産・子育てできる環境の整備を進める事業。

民間保育施設整備の支援や、病児・病後児の保育、女性のキャリアデザイン等に関する講座の開催など、女性と男性がともに子育てと仕事を両立できる環境の整備を進める事業。

エ 健康づくり・生きがいづくり事業

特定健康診査・特定保健指導の充実や、高齢者の健康づくりの支援など、健康的な生活を心がけている人を増やすため、健（検）診の受診を推進し、

個人の健康状態に応じた生活習慣の改善を支援するとともに、健康づくりに取り組みやすい環境を整備する事業。

障害者の就労の支援や、地域包括ケアシステムの推進など、生涯を通じて心豊かに暮らすことができる人を増やすため、地域における支えあう活動や生きがい・活躍の場を創出・支援する事業。

※なお、詳細は第2期東海市総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

280,000 千円（2020 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

総合戦略の着実な推進とP D C A サイクルによる効果検証に向けて、数値目標及び重要業績評価指標（K P I）等について、毎年度6月頃に外部有識者をはじめ各界の代表者及び市民で構成される「東海市まち・ひと・しごと創生推進委員会」から意見をいただき、行政資源の有効活用と施策の効果的・効率的な展開を図り、検証後速やかに東海市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

5－3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで